

1年道德通信

第17号

第17回『やっぱり樹里は』

第17回目の道德では、「やっぱり樹里は」というお話から、正義や公正さについて考えました。先輩にも臆せず自分の考えをはっきりと伝える樹里。そんな樹里を、「もめたくない」という理由で批判的に捉えている傍観者的な「私」。ある日「私」は、いつでも、どこでも、誰に対しても、公正・公平に意見できる樹里の姿を目撃し、自分もそのようにありたいと思い始めます。正義を貫くことや、公正であることについてみんなが考えたことを、一部ですが紹介します。

みんなの意見

樹里が大切にしていたことは、どんなことでしょうか？

- 自分の考えをしっかりと人に伝えること。
- どんな場面でも、「おかしい」と思ったことをそのままにせず、しっかりと自分の意志を持って、良い結果になるように自分から行動を起こすこと。
- 自分の意見をしっかりと持つことだと思う。それと意見を持ってそれが「正しい」とか「正しくない」とか「それは違うんじゃない」と、一人の意見に惑わされてばかりではなく、自分から発言していくこと。
- 誰かに頼って自分が黙っているのではなく、自分から言いたいことを伝えること。
- 自分の意見を堂々と言うこと。

今日の学習で学んだことや考えたこと。

- 正義は人が見ていないところでやっても、誰かがその正義に気付いてくれるのだと思いました。
- 私は今もだけどいつも周りの意見に流されています。自分の意見なんて言う勇気がありません。でも、これからは周りに流されすぎないようにしたいと思います。自分の意見は言えないけど、流されないということはできると思います。
- 自分の意見を全て言うのではなく、周りの人が正しいと思える意見を積極的に伝えていくことが大切だと思う。
- 自分の意見を言うことはいいことだと思うけど、意見を発信する時に間違っていないかを考えることも大切だと分かった。

正義とは？公正とは？

自分はできているだろうか？

